

# 第6学年 総合的な学習の時間 学習構想案

熊本県 菊池市立菊之池小学校 教諭 一安 尊正

## 1 単元構想

単元名	ふるさと菊池よかところたいプロジェクト第2弾 ～菊池の歴史を探求し、その魅力を発信しよう！～		
単元の目標	地域の文化財を見学したり、聞き取り調査をしたりする活動を通して、 (1)地域の文化財や歴史、それを守る人々の思いを知り、 (2)収集した情報を整理・分析・比較を行いながら適切にまとめ、 (3)学びを発信することで、これからの自己の生き方や生活に生かそうとする。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	菊池には、貴重な文化財や歴史があることを知り、それを守ったり、伝えたりする人々の思いを理解している。	①収集した情報を、適切にまとめようとしている。 ②収集した情報を、整理・分析したり、比較したりして、多様な意見を取り入れながら発言したり、まとめたりしている。	①自ら問いを立て、進んで探究活動に取り組もうとしている。 ②発信方法を考えたり、実際に発信したりすることで、郷土を愛する心情を育もうとしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
菊池には貴重な文化財や歴史があり、それを守り伝えようとする人々の思いを理解し、集めた情報を整理・分析したり、伝え合ったり、適切にまとめるたりする活動を通して、その魅力を再確認し、郷土に誇りを持つことができる児童			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
菊池の歴史的な魅力を探求・発信しよう！		菊池の歴史的な魅力について多様な角度から捉え、よりよく課題を解決し、自分にできることを問うこと	
指導計画と評価計画（25時間取扱い）			
過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	3	○各種資料から菊池の現状を知り、単元を貫く課題を設定する。（国語）	
<b>【単元を貫く課題】ふるさと菊池よかところたいプロジェクト第2弾！ ～菊池の歴史を探求し、その魅力を発信しよう！～</b>			
		○「菊池一族」に関して、問いを立て、情報収集に向けて見通しを持つ。（総合）	★【態①】（方法：発言・ワークシート） ・自ら問いを立て、解決の見通しを持つとしている。
二	17	○自分の立てた問いを解決するための情報を収集する。（社会） ○現地調査をしながら、市役所の方の話を聞く。（社会） ○調査したことをワークシートやスライドにまとめる。（総合）（国語） ○スペシャリストグループで伝え合う。（総合） ○新聞4面をどの内容にするか、考えを出し合う。【本時】（総合） ○新聞の構成を決める。（国語） ○新聞を作成する。（国語） ○編集会議を行う。（国語） ○新聞の修正を班ごとに行う。 ○GTのアドバイスを受けながら新聞を完成させる。（国語）	★【知】（方法：ワークシート） ・各種資料や聞き取り調査を通して、菊池の歴史に対する理解を深める。 ★【思・判・表①】（方法：ワークシート） ・収集した情報をワークシートやスライドにまとめる。 【知】（方法：ワークシート） ★【思・判・表②】【方法：ワークシート・発言】 ・4面を選ぶ時に、いろいろな人の意見を取り入れながら考えることができる。 【思・判・表②】【方法：新聞】 ・アドバイスをもとに班で話し合いながら新聞を修正している。 【思・判・表②】【方法：発言・新聞】 ・調べたことや、話し合ったことをもとに根拠を示しながら、自分の考えを表現している。
三	5	○完成した新聞をどのように発信するか計画を立てる。（総合） ○作成した新聞を発信する。（総合）	★【態②】【方法：行動・ワークシート】 ・どんな方法で発信できるのか考え、発信の準備をする。 ・作成した新聞を発信し、郷土を愛する心情を育もうとしている。

## 2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
小学校学習指導要領第1の目標を受け設定された本校の目標「夢に向かって挑戦し、ともに伸びゆく菊池の子どもの育成」をもとに、探求課題と探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を設定し、単元を構成している。				
教材・題材の価値				
本単元は、菊池の歴史を調べたり、文化財を見学したりする活動等を通して、地域に対する理解と愛情を深める。また、調べたことを、対話を通して深めたり、発信したりする活動を行うことで社会参画への意欲を高め、郷土を愛する心情を育むのに適している。				
本単元における系統				
4年 総合 ふるさと菊池よかとこたい プロジェクト	5年総合 ふるさと菊池の「稲づくり」	6年 総合 ふるさと菊池よかとこたい プロジェクト第2弾		
児童の実態 (単元の目標につながる学びの実態)				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(対象41名)				
調査内容	はい	いいえ		
① 菊池一族について知っていますか。	27	14		
② どんなことを知っていますか。	・菊池一帯を治めていたこと。・使った刀を知っている。・菊池一族が九州の中でも、もっとも強かったことは知っている。・元冠など有名な戦いに参加していること。・千本槍。・平安時代から室町時代まで活やくした一族。・菊池武光がいる。			
■本単元の学習に関する意識の状況(対象41名)				
調査内容	とても	まあまあ	あまり	全く
① 地域のことを学ぶことは好きですか。	12	27	2	0
② 地域のことを学ぶことは大事だと思いますか。	26	15	0	0
③ 自ら問いや仮説を持つことができているですか。	8	26	6	1
④ 問いに対して、粘り強く解決しようとしていますか。	4	27	10	0
⑤ 調べた情報を整理したり、分析したりすることはできていますか。	7	21	10	3
⑥ 調べたことを文章や図、写真などを使ってまとめることはできていますか。	8	21	12	0
■本単元の学習に関する意識の状況(新聞活用に関して)(対象41名)				
調査内容	とても	まあまあ	あまり	全く
① 調べ学習の時などに、新聞を活用することは大事だと思いますか。	16	24	1	0
② 調べ学習の時などに、新聞を活用することはできていますか。	8	29	4	0
③ 授業で新聞をもっと使ってみたいと思いますか?	13	25	2	1
■考察				
基礎・基本の定着に関して、菊池一族について知っている児童は約66%で、内容を詳しく知っている児童もいれば、聞いたことのある単語を書いている児童もいた。知識に差があることが分かる。				
意識調査に関しては、地域学習の大事さを感じている児童は100%であった。これは、6年間を通して、地域のこと・ものに触れてきたからであると考えられる。しかし、問いを立てることができていないと考えている児童が約17%、情報を整理したり、分析したりすることに苦手意識を感じている児童が約32%いる。また、図や文章、写真などを使ってまとめる活動に苦手意識を持っている児童も約29%であった。じっくり情報を整理・分析したり、それを協力しながらまとめたりする時間を十分に確保する必要がある。新聞活用に関しては、どの問いにおいても肯定的な意見を持っていた。これまでも新聞記事を使った活動をしてきた成果であると考えられる。本単元においても、自分の考えを表す根拠の一つとして、新聞記事を用いることで、新聞活用の意義を感じさせたい。				

## 3 指導に当たっての留意点

- 児童一人一人が問いを持つことができるように、「5W1H問いシート」を用いる。
- 問いに対して、自ら解決することができるように、調べ学習の時間を十分に確保する。その時には、本や新聞、現地調査など、様々なツールを用いることで、幅広く情報収集を行えるようにする。
- 情報の整理・分析においては、班や全体での対話の時間を十分に確保する(ジグソー学習)。また、思考ツールを活用することで、整理・分析しやすくする。
- 収集した情報を新聞にまとめるようにする。その時に、編集会議を行うことで、よりよい新聞を作成できるようにする。
- 作成した新聞を地域に配布する時間を設けることで、菊池市のために自分たちにもできることがあるという実感を持たせる。そうすることで、社会の一員としての自覚を持ち、郷土を愛する心情を育むようにする。
- 人権が尊重される授業づくりの視点からペアやグループ活動など、考えを伝え合う場面では、お互いの意見を尊重しながら発表者の意見を聞けるようにする。

## 【ESD の視点から課題発見と自己実現の場となる SDG s の取組】

単元を終えて次の学習を促す

- ・自分たちのふるさとの良さ(歴史的側面)をPRする。⇒
- ・自分たちのふるさとのことをいろいろな人に語る。⇒



### 4 ESD との関連

#### (1) 本学習で働かせる ESD の視点(見方・考え方)

- ①多様性…守るべき魅力的な歴史的遺産がたくさんある。
- ②有限性…今ある歴史的な遺産はいつか失われるかもしれない。
- ③責任性…すばらしい歴史を自分たちが伝えていく。

#### (2) 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

- ①協働的問題解決力…収集した情報を新聞にまとめ、発信するまでの活動に、協力して最後まで粘り強く取り組む。
- ②コミュニケーション力…収集した情報を新聞にまとめるときに、より良いものを作るために意見を伝え合う。

#### (3) この学習を通して育てたい ESD の価値観

- ①世代間の公正…菊池一族の業績を次の世代へと伝えていかなければならない。
- ②人権・文化を尊重する…菊池一族が残してきた歴史的遺産をこれからも大事にしていかなければならない。

#### (4) 達成が期待される SDG s

- 1 1 住み続けられるまちづくりを
- 1 7 パートナーシップで目標を達成しよう

4 本時の学習

(1) 目標

新聞の4面を選ぶ活動を通して、互いの考えを聞き合うことよき気付くことができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5分	<p>1 前時までの振り返りをして、本時の課題をつかむ。</p> <p>2 GT (熊日の方) の話を聞く。</p> <p style="text-align: center;"><b>【めあて】4面を選ぶ時に、大切なことはどんなことか考えよう。</b></p>	<p>○黒板に、記事にしたい内容(菊池一族の「人物」「文化財」「歴史」「経済力」「戦い・道具」「今も残るもの」を掲示しておく。</p> <p>○GTの話聞き、記事選びの意欲を高める。</p>
展開	30分	<p>3 調査活動で得た情報をホームグループで伝え合う。</p> <p>◇わたしは菊池一族の人物は絶対に載せるべきだと思う。なぜなら、市民広場の像も武光だし、これは菊池のシンボルだから…<b>新聞活用</b></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><b>【期待される学びの姿】</b> 積極的に意見の共有を行い、いろいろな人の意見を聞きながら新聞4面をどれにするか考えている。</p> <p>4 投票を行う。</p> <p>5 最後のアピールをする。</p> <p>◇わたしは、経済的な部分はやっぱり載せてほしい。この新聞記事を見て。国指定の文化財になったって書いてあるでしょ。それだけこの場所は大事だから…<b>新聞活用</b></p>	<p>○調査活動を通して得た情報をもとに、相手が納得できるように、根拠を示しながら、発表するようにする。</p> <p>○視点を意識して話し合いを行うようにする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>【視点】</b> ・菊池市の外の人たちに魅力が伝わるか。 ・菊池市の人たちの思いが伝わるか。 ・自分の思いが伝わるか。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>【具体の評価規準】 思・判・表②</b> ○4面を選ぶ時に、いろいろな人の意見を取り入れながら考えることができる。 (方法：発言 ワークシート)</p> <p>○途中経過をFormsで投票する。</p> <p>○視点を意識しながら、発言できるようにする。</p> <p>○児童作成のスライド等を電子黒板に映しながら発言できるようにする。</p>
終末	10分	<p>6 GT (市役所の方) の話を聞く。</p> <p>7 4面を選び、本時の振り返りをする。</p> <p>◇国指定文化財になる菊之城跡は欠かせないな。○○さんの話を聞いて、文化財に関することは、今度作る新聞にいれるべきと思った。互いの意見を聞き合うことで、考えを広げることができた。何かを決めるときは、意見を交わし合うことが大事だと分かった。</p>	<p>○GTからは、子どもたちの話し合いの様子を評価してもらう。</p> <p>○Forms、もしくはワークシートを使って振り返りを行う。</p> <p>○どの記事を新聞の4面にするか、いろいろな人の意見を取り入れながら選ぶようにする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>【具体の評価規準】 思・判・表②</b> ○4面を選ぶ時に、いろいろな人の意見を取り入れながら考えることができる。 (方法：Forms ワークシート)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>【到達していない児童への手立て】</b> ○適宜声掛けをして、板書や今までのワークシートを参考にして考えさせるようにする。</p>

## 5 板書計画

<b>11月17日(金)</b> <b>単ゴ</b> ふるさと菊池よかところたいプロジェクト第2弾 ～菊池の歴史を調べ、発信しよう～ め：4面を選ぶ時に、大切なことはどんなことか考えよう。 視点1：菊池市の外の人たちに魅力が伝わるか。 視点2：菊池市の人たちの思いが伝わるか。 視点3：自分の思いが伝わるか。	人物	歴史	文化財	今も残る	経済力	戦い

## 6【ICT活用計画】

- 情報収集を行ったり、班で考えを伝え合ったりする時間にはタブレットを活用する。
- 新聞作りを、タブレットを使って行う。
- 各種資料を見せるときには、電子黒板で拡大表示する。

## 7【新聞活用計画】

- 魅力発信のために新聞を作成する。
- 新聞づくりを行う際には、熊日の方のアドバイスをもらいながら作成する。
- 意見を出し合う際には、新聞記事も根拠に発表する。